

元気で歩こう会

ホーム 基本情報 活動紹介 おしらせ 問い合わせ

元気で歩こう会 玉川上水を下る(初回)

2

0. 10. 18



爽やかな秋晴れの下、玉川上水下りを始める。
杉並の浅間橋まで約30キロを5回に分けて下る。

昨年の3月から始めた川下りは、野火止用水、黒目川(一新河岸川一隅田川)、神田川、石神井川と4つの川を下り、今度は5本目である。

東久留米駅…花小金井駅…拝島駅…羽村駅⇒羽村堰⇒清巖院橋⇒青梅橋⇒水喰土公園⇒拝島駅…花小金井駅…東久留米

約7キロ

奥多摩の羽村駅まで電車で遠出とあつて、まるでピクニックのような、うきうき気分である。
がら空きの電車は27名のための貸切?のように話がはずむ。



多摩川羽村堰



羽村堰と取水口



取水口

玉川上水は、約350年前、江戸の人口増加による飲料水の確保と上水周辺の灌漑、水車の動

力源のために開削され、16ヶ月の後完成した。その功績により玉川兄弟は姓を賜り、総奉行の

松平伊豆守は、野火止用水建設の許可をもらって、現在の用水が分水された。



42キロに及ぶ距離を、測量の技術が十分でない当時、土地の高低を調べ、水を流す難しさは

想像を絶するもので、馬の背の高地を選んで開削し、自然の流れを利用したといわれている。

川沿いに緑の道が随所にあり、昔の人の素晴らしい知恵のあとが偲ばれる。



川沿いの道を通りすがりに、庭先の憩いの風景を見る。

東久留米では?如何かなあ。

今年の6月開催のほたる祭りの時は、500匹の源氏ホタルが飛び交ったそうだ。うらやましい。

鳥にも、こども達にもやさしいバードウォッティングの広場である。東久留米にもあるといいな!



「みずくらいど」と読む。
上水の開削の時、厚い砂利層で水が吸い込まれ、水路が保てなくなり、余儀なくコースを変更したそうである。

11月13(木)
手塚治虫生誕80年記念ウォーク
ジェイコム西東京局と共に

東久留米(晩年の住まい)⇒新座(晩年の仕事場)まで 約7キロ



9:00市民プラザ集合
新座市役所でアトムの住民票を授受(無料)後、現地解散。

希望者のみ平林寺園内鑑賞

7キロの歩行距離にしては、思ったよりも時間もかからず、疲れも残らないウォークであった。みんな、元気な顔!顔!である。
次の川下りは11月15日(土)拝島一玉川上水の7キロウォークである。